



2020-2021年度 国際ロータリーのテーマ

ロータリーは機会の扉を開く

ROTARY OPENS OPPORTUNITIES



写真提供: 奥山順一会員



倉敷南ロータリークラブ

国際ロータリー第2690地区第7グループ 創立Jul.7.1961
〒712-8001 倉敷市連島町西之浦4141ヘルスピア倉敷

第 2853 例会 R. Song 「四つのテスト」 天候：雨 No.2853/2021. 1. 22

Guest なし

Visitor なし

出席 会員数 69名 (うち出席規定免除者②名①2名)

1 / 22 の出席率 76. 27% (出席者45名、内①4名)

欠席 安藤、浅見、江澤、唐川、北尾、三宅(典)、中川、小野、奥山、田原、田中、
和田(一)、渡辺(英)、山中、各会員 (14名)

●佐藤副会長

- ・ワクチン接種について、ポリオワクチンは生ワクチンで、口から吞む。弱毒化したウイルスを飲み込んで、腸で抗体を作る。100万人に1人程度がポリオにかかる。
- ・コロナ対策のワクチンはメッセンジャーRNAワクチンで、不活化ワクチンと呼ばれ、設計図を直接注射で打ち込む。2月末には医療関係者 約300万人が接種を受ける。皆さん、受けるようにしましょう。

●幹事報告(野口副幹事)

- ・岩崎地区 GE 事務所より、会長エレクト研修セミナーのご案内、他報告4件。

●小田会長エレクト

- ・次年度の理事、役員、委員長を記載しております。(拍手)よろしく申し上げます。

●スマイル報告(渡辺(清)副 S. A. A)

- ・佐藤副会長、桐野会員、野口副幹事、渡辺副 SAA:土井会員のイニシエーションスピーチを大歓迎いたします。
- ・納会員：妻の誕生日に綺麗なお花をいただきありがとうございます。昨年と同様にマンションのフロントに飾ってもらい、他の住人の皆さんにも楽しんでもらっています。

●プログラム 卓話 イニシエーションスピーチ

公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構

倉敷中央病院リバーサイド院長 土井 修 様

- ・1948年に舞鶴市に生まれる。浪人を経験し、その後京都大学医学部へ進学。
- ・1976年 倉敷中央病院へ。がん治療時に心筋症から患者さんを亡くし、無力感を感じる。それを機会に心筋の道を目指す。
- ・1999年に静岡県立病院へ。
- ・2006年に器が必要と言うことで病院を建設。2008年に完成。
- ・2014年に定年退職。その後、京都の第二岡本記念病院へ。そこでもまた病院を建設。
- ・2018年～ 倉敷リバーサイド病院へ。急性期の対応→地域密着の病院。でもやること、患者さんは同じ。倉敷中央病院とリバーサイドで水平統合として、活動している。

例会プログラム予定：

2021.2.5 (金) 卓話 クラブ協議会 (中間決算報告) /イニシエーションスピーチ 小野顯人会員

2021.2.12 (金) 卓話 ゲスト卓話 倉敷芸術科学大学メディア映像学科教授 中川浩一様